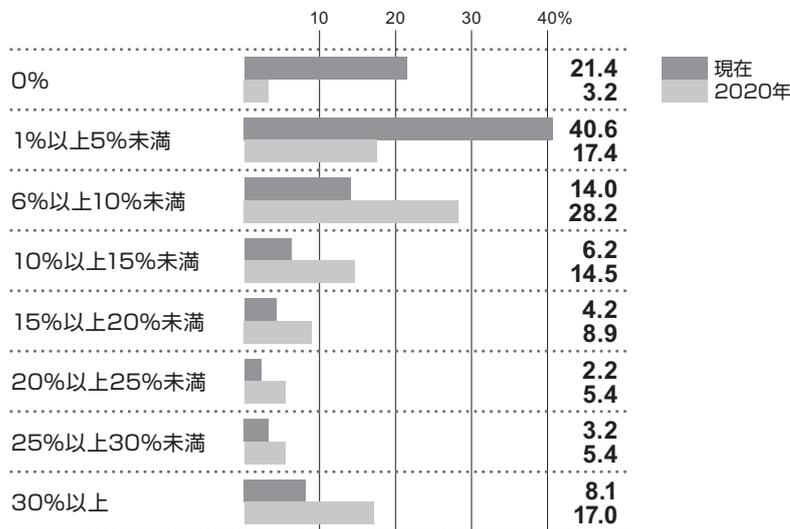


IV-03 女性管理職の割合

質問：現在、貴社の管理職（課長クラス以上）全体に占める女性の割合はどの程度ですか。
また、2020年までに管理職に占める女性の割合をどの程度にしたいですか。（単一回答）

■管理職（課長クラス以上）全体に占める女性の割合



●「現在」は「10%未満」が多数派

政府の掲げる「2020年までに女性管理職30%」にはほど遠い結果

ここからは、女性管理職に関する質問です。周知のように、政府は成長戦略の一つとして、2020年までに公務員や企業の幹部職員に占める女性の割合を、30%程度にする目標を掲げています。そうした中で現在、企業の管理職（課長クラス以上）全体に占める女性の割合はどうなっているのでしょうか。また、2020年までに管理職に占める女性の割合を、どの程度にしていきたいと考えているのでしょうか。

その結果をみると、まず現在については、「0%」という企業が21.4%と5社に1社、存在します。また、女性管理職がいたとしても、その割合は「1%以上5%未満」40.6%が最も多く、「6%以上10%未満」14.0%と合わせて、「10%未満」が76.0%と約8割を占めています。海外をみると、例えば欧米では30%を超える国が多数派を占めています。それと比べると、日本では職場に女性管理職にいるのが当たり前という状況ではないことが分かる結果です。

このような現状の下、2020年にはどの程度、女性管理職を増やそうと考えているのでしょうか。さすがに、「0%」という回答は3.2%と少なくなっています。しかし、最も多いのは「6%以上10%未満」28.2%であり、「1%以上5%未満」17.4%が続いています。一方、「30%以上」という積極的に登用しようという企業も17.0%見られますが、回答結果を見る限り、政府の掲げる女性管理職30%には、ほど遠い状況です。